

出席者	住民	42人	市 大城市長・宮下市民福祉部長 政策推進課 此上係長・金谷主査
発言者	事項	要望内容等	かこむ会での回答
子育て支援課 建設課	※事前質疑 王子の森公園 内のこども園 開園に際し予 定されている 整備について	・桜や木々の植樹、ベンチの設置 ・南側トイレ(芝生側)の整備、家畜保健 所跡地駐車場	○桜などの植樹について 認定こども園新築移転事業に伴い、建築用地内に あった桜をはじめ、多くの樹木を伐採している。 一方で、本事業の建築予算には桜などの植栽に係 る経費を計上しており、また、市内の団体からも認 定こども園の新築移転に合わせた植樹のご要望を いただいている。 今後は、公園管理者である建設課と協議・調整を 行いながら、市民の皆様の憩いの場となるような植 樹について検討し、適切に進めていく。【子育て支 援課】 ○ベンチの設置について 現在、王子の森公園内に12基のベンチを設置(遊 具側6基、芝生広場6基)している。今年度事業とし てベンチの塗装等の修繕を行うこととしているが、 増設の予定はない。 今後こども園開園後に利用者が増加し、ベンチが 不足する声があがれば検討していく。【建設課】 ○南側トイレ(芝生側)の整備について 芝生広場側のトイレについても、現時点では特に不 具合が生じていることはなく、新たに整備する予定 はない。今後施設の老朽化等により必要であれば 検討していく。【建設課】 ○家畜保健衛生所跡地の駐車場整備事業につい て 該当地の一部(前側)は、八幡浜市・西予市・伊方 町で共有していた土地であったが、令和8年5月に 当市以外の持分を取得している。 該当地の奥側の愛媛県土地については、現在、 建物の解体工事が行われており、7月中に工事が 完了する予定である。 今後、愛媛県と譲渡契約を締結し市有地になっ たら、駐車場整備を行い、令和8年度中に完成予定と している。 ※台数は30~40台程度を想定。【建設課】

発言者	事項	要望内容等	かこむ会での回答
防 災 学 校 危 機 管 理 課	※事前質疑 南小学校の校 舎改装につい て	・改装に際し体育館の空調設備の設置を希望 ・バリアフリートイレの設置 ・災害時備蓄品の拡充(ベッド・寝具・パーテーション等)	○体育館の空調設備およびバリアフリートイレの設置 南小学校の校舎・体育館の改修については、令和10年度から令和11年度にかけて行う予定で計画しており、体育館への空調設備設置についても併せて実施する予定である。バリアフリートイレの設置のご要望については、教育環境の向上や避難所としての機能強化の観点から、市としても重要性を認識しており、前向きに検討したいと考えている。 しかしながら、これらの整備には多額の費用を要するため、市全体の財政状況を勘案するとともに、国や県の補助金などの活用可能性を精査しながら、実施時期や手法について検討を進めていく。【学校教育課】 ○災害時備蓄品の拡充(ベッド・寝具・パーテーション等) 現在、本市では、南海トラフ巨大地震を想定して、令和3年3月に「八幡浜市備蓄計画」を策定しており、まずは、食料の確保を優先して米・パン・水を毎年計画的に購入し、トイレ処理剤や毛布等の購入も継続して行っている。 今後は、令和8年2月に愛媛県が南海トラフ巨大地震に関する新被害想定を公表したので、現在の備蓄計画を修正したうえで、備蓄品の項目を精査し、計画的に購入していきたい。 南海トラフ巨大地震などの大規模災害時においては、市の備蓄食料や備蓄品だけでは不足する可能性が考えられるので、自助・共助の観点から各家庭内や自主防災会での備蓄もお願いしたい。 最後に、令和6年能登半島地震においては、寝具等は各家庭から持ち寄って対応したと聞いている。 【防災危機管理課】
防 災 危 機 管 理 課	※事前質疑 地域防災を支 える自主防災 会事務局体制 の充実につい て	当公民館は、地域防災の中核的な役割を担っており、本来の公民館運営に加え、自主防災会活動の事務局として、資料作成、会議調整、訓練準備、関係機関との連絡調整など、多くの業務を担っています。 しかしながら、これらの業務は専門性と継続性が求められる一方で、現場の負担は年々大きくなっております。また、地域の方に協力をお願いする場合でも、事務局業務を無償のボランティアとして依頼することは難しいのが現状です。 つきましては、自主防災会の事務局業務を担う方に対し、「防災主事」等の位置付けを設け、手当を支給できる制度の創設についてご検討いただきますようお願いいたします。 地域防災を継続的かつ円滑に推進していくためにも、現場の負担軽減と、地域の安心・安全を支える体制整備が必要であると考えます。	自主防災組織は、「自分の住んでいるまちは自分で守る」という考え方を基本に、地域住民が自主的に結成する組織であり、平常時には防災訓練や研修等、発災時には、地域の先頭に立って住民の避難誘導や安否確認、さらに大災害時には、避難所運営などの役割を果たす共助の要の組織と考えている。 今後、市が防災主事等の役職を位置付け、直接的な手当を支給する制度の創設については、市内全地区のバランスや他団体との公平性、将来にわたる財政的な持続可能性など、様々な課題があることから、現時点では、慎重な見極めが必要であり、早期に実施することは困難であると考えているので、今後、制度の創設だけでなく、事務負担が軽減できるような対策を含め、自主防災組織運営のサポートに関して、検討していきたい。
防 災 建 設 機 管 理 課	雪害時の道路 表示板につい て	大雪時の国道通行止め情報が千丈駅前にはしかない。渋滞回避のため、松山方面から来る側の地点に電光掲示板等の設置を検討してほしい。	市・県・警察で連絡機関を設立済み。掲示板は予算の問題もあるが、連携して迅速な情報発信に努める。

発言者	事項	要望内容等	かこむ会での回答
建設課	交差点の右折レーンについて	八代のローソン付近の信号に右折レーンがなく渋滞する。改善を毎年要望しているが進捗を知りたい。	国道のため県の管轄。渋滞状況は県も把握している。用地買収の問題で難航しているが、市としても県の事業が進むよう強く働きかけ、地元の協力も得ながら交渉したい。
社会福祉課	福祉施設の建設進捗について	松柏中学校跡地へ老人ホームを建設し、障がい者グループホームの建設も計画していると聞いたが、進捗状況を教えてほしい。	養護老人ホームの松柏中跡地への新築移転は準備を進めている。障がい者グループホームは今年度に次期「障がい者基本計画」を策定するための市民アンケートを実施する。アンケートで需要を把握し、跡地利用を含めて検討していく。 【補足】 現在、障害者手帳のある方や事業所等関係者に向けてアンケートを実施中。事業所などの後押しとなるよう八幡浜市の需要を公表する予定。現在の養護老人ホーム移転後の跡地利用も含めて検討していく。
総務課	土木技術職の採用について	6月初旬の大雨の際、中山間地域の道へ流入した土砂を建設課・農林課が迅速に撤去してくれて感謝している。しかし、今年度の市職員採用で土木技術職の応募がゼロであったと聞いた。この採用難の原因と、市としての受け止め・対応策を知りたい。	民間企業の給与や待遇が良く、公務員を希望する人が減っている。地元高校からの募集も試みたが、都会へ進出する生徒が多い。社会人経験者が受験しやすい試験制度(SPI)の採用などで確保に努めている。直接の関係はないが、来年度からは地元の高校生が市内で就職できるよう、事務職に「高校生枠(1名)」を新設して門戸を広げている。 【補足】 令和8年度は4月と7月に土木技師の募集を行ったが応募はなかった。 今後は技師の初級採用の他、民間等で技術職として働いている方を採用する(Uターン等)方法を検討する。
上下水道課	マンホールの改修について	五反田唐獅子を祭りで踊っている際、あすもあ付近のマンホールが滑りやすく危険である。滑りにくいものに交換できないか。	踊る時間だけマンホールの上に毛布やタオルを敷くといった応急処置をお願いできないか。下水道管の改修計画に合わせて順次交換している。特定の場所については日程が分からない。分かり次第、知らせる形にさせていただきたい。 【補足】 八幡浜市ではデザインマンホール(標準蓋を加工)を採用して面整備を行い、維持管理計画(ストックマネジメント計画)により順次更新を行っている。また、傾斜地では滑り止め加工マンホール蓋(デザインなし、標準蓋)、平坦地ではデザインマンホールを採用して更新を行っている。 現在、維持管理計画に基づきリスク評価が高く、他工事により舗装打ち換えが行われる箇所から更新を進めており、直近では神山地区は該当していない。
農建林設課	湯島の市道の拡幅について	①湯島の老人ホーム移転に伴い、その前の道路は狭く、車の離合が必要になっている。現在使用されていない土地を若干広げて、通行しやすくできないか。 ②国木から川之内に抜ける農免道路は便利になるが、そこへアクセスする途中の支線市道が狭くて通行が難しい。避難路としても機能させるため、既存道路の拡幅や整備をお願いしたい。	①老人ホームの跡地利用を含めて検討する。 ②農林課・建設課で現状を確認し、地元からの優先順位を考慮して対応したい。 【補足】 農免道路(基幹農道)へのアクセスする市道については、地元の区長等からの要望に基づき現地調査を行った上で、全体の優先順位を考慮しながら慎重に対応を検討したい。【建設課】

発言者	事項	要望内容等	かこむ会での回答
防災危機管理課	災害時の専用ダイヤルについて	停電や倒木時、四国電力等のフリーダイヤルが繋がりにくい。緊急時に一括で対応できる窓口はないか。	専用ダイヤルはないが、市役所の日直等で受け付け、各課や関係機関(四国電力等)へ連絡・調整することは可能。混雑時の連絡方法については、市から四電に状況を確認し、市民へ伝達できる工夫がないか検討したい。 【補足】 大規模な停電時においては、防災メールや防災行政無線による広報の実施を検討する。そのため、市防災メールへの登録をお願いしたい。 ＜参考＞ 停電情報は、四国電力送配電の公式LINEで確認ができる。
農林課	農免道路の維持管理について	高齢化で道づくりの草刈りが困難。年1回でも市で木の伐採等の管理をお願いできないか。	市内全域で同様の課題がある。特定の地区だけ対応するのは難しいため、市全体としてどのような対応が可能か協議したい。 【補足】 基幹農道(農免農道)については、地元から要望のあった箇所については農林課の予算で、現在対応している。今年度は地元から要望のあった川之内公民館側の法面部を9月頃に予定している。今後は、現地の実態や地区の状況を確認し、予算の範囲内で随時対応していきたい。
保健センター	介護施設の定員確保について	介護施設の事業所数が減ってきている。在宅介護が困難な場合の受け皿として、この先が心配。入所施設を増やす検討はないのか。	介護保険サービス事業所の数は、市内全体では一定規模をキープしている。ただし、訪問介護などの事業者が厳しい状況にあることは認識している。次期「介護保険事業計画」で適正な数を検討していく。ただし、施設を増やすと介護保険料の上昇に直結するため、需要と保険料のバランスを慎重に見極める。
	市長の健康状態と今後の「わくわくする政策」について	市長自身の健康状態と、今後の任期への意欲について聞きたい。	至って健康である。公約を果たせていない部分もあり、任期残り2年を全力で取り組みたい。
税市務民課	お悔やみ手続きの告知について	還付金を受け取ると相続放棄ができなくなる恐れがある。窓口でその旨を事前に告知してほしい。 ①相続放棄を知らずに還付手続きをしまい借金を背負う人が出る現状こそ不公平ではないか。 ②多少の公平性を問題にするよりも、市民の生活や命を守るための案内を優先すべきではないか。	相続放棄をして返さない選択をする人もいれば、借金をきちんと返す人もおり、法律のどこまで市役所が踏み込んで案内できるかという専門的な課題もある。ただ、実際に「相続放棄の予定があるなら手続きをしないでください」と窓口が回答できた実績も踏まえ、実情を確認した上で今後の対応方法を協議・検討する。 【補足】 現在、おくやみ窓口での国民健康保険、後期高齢者医療保険および介護保険に関する還付申請については、最初に相続放棄の有無の確認を行っている。【市民課】 納税義務者が死亡した場合、親族に対して、税金を支払っていただくために、相続人代表者の選定を依頼している。制度上、相続放棄された場合は相続人代表者に指定できないが、故人の財産や債務等の全てを市で把握することはできないため、親族が不利益を受けないように適切な説明を心がけている。【税務課】